

成功裡に終わった『嗚呼 満蒙開拓団』自主上映会

—「大頂子東仙道開拓団の証^{あかし}を守る会」が益田市内外に呼びかけて開催—

加藤 重幸

前略ごめんください。

暫らくは電話による応答で失礼しましたが、このほど計画しました映画会が盛会裏に終了することが出来ましたので、ご報告いたします。

当日は気温も 20 度をこし快晴でした。そのため会場のある市街地外からの出足がよく 2 時半の上映予定時間より 2 時間も前から続々来場され、午後の部に 300 人強が夜の部にも 150 人を超す観客を迎えることができました。

当初から私はチケット入場者 400 人無料入場者 100 人を見込んで計画していました。しかし最も期待していた中学・高校生は一人も来てくれませんでした。ショックでした。市内の高校 4 校は私が直接訪問しポスターとチラシ数十枚と同封しています「開拓団と東仙道村」のチラシも添えて生徒たちに宣伝してもらおうようお願いしたのに誰一人理解してくれませんでした。中学は東仙道と真砂の学校に高校と同じようなお願いもしたのですが駄目でした。子供たちには何で興味を示さないのか寂しい、情けない気持ちを今も持ち続けています。

愚痴はこれくらいにして、当日は小ホール前のホアイエ一杯に 150 枚の写真をはじめこれまでに東仙道開拓団関係の各社(朝日・読売・毎日・山陰中央)の新聞記事の抜粋や開拓団が満州開拓で使用していた農機具などの写真と略図・「満洲開拓民入植図」と現在の 700 万分の 1 の中国(昭文社)の地図を並べて紹介等々をパネルに貼り付けて展示しました。

また折角の機会ですから、七三一部隊記念館、偽満洲皇宮、9・18 記念館、旅順関係訪問時の写真も添えました。

そして映画会の資料として、①自由工房が PR 用にパンフレットから抜粋されたもの、②大類先生から送られた「日本人公墓を知っていますか、③参考消息、④「中国に存在する『日本人公墓』が問いかけるもの」⑤「ノモンハン戦争の跡地を訪ねて」と私が前に作成した「満州開拓と東仙道村」をビニール袋に入れ、映画「嗚呼満蒙開拓団」アンケート用紙を添えて来場者に配布しました。

アンケートについては約 260 人の方から回答をいただきました現在集計中です。(他事ながらこの報告書作成中私の家内の母が突然他界しましたので分析も中断していますので手間取っています)

資料は 750 部用意しましたので、大類様から提供いただき残りしましたものを「星火方正」の販売残数返却に添えてお送りしますので、良かったらご使用ください。

何はともあれこの映画上映会は私としては大成功だったと自負しています。

他の市町村で行われている自主上映会場の様子は全く分かりませんが、送出自治体を巻き込み、入館料 500 円を設定したことで自由工房や関係者の方々にご迷惑をおかけしたのかも知れませんが、私たち「大頂子東仙道開拓団の証を守る会」が少なくとも現益田市民

に県内唯一の分村開拓団として送出され、大きな犠牲を強いられまた悲惨な体験をしながら生還できた皆さんたちのことを語り継ぐことは本当に大変なことです。それをやろうとしても500人もの人たちに知ってもらうには何年も何十年もかかるか知れません。正にこの映画をつくって頂いて私たちにそれを活用させて頂いたことに感謝しています。

この映画会開催に当たりまして、大類様には格別のご支援ご協力いただきましたこと厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

早々

平成22年11月3日

方正友好交流の会

大類善啓様

島根県益田市

「大頂子東仙道開拓団の証を守る会」 加藤重幸



写真上は、会場に設けられたパネル展示風景。下写真は上映会場風景だ。